

■南アフリカ：南アフリカが2018年までに4,000MWの原子力発電所建設を計画

慢性的な電力不足に苦しめられている南アフリカで、国有電力会社 Eskom は2009年5月26日、2018年までに原子力発電所を運開させると発表した。アフリカで唯一の原子力発電所を保有している Eskom は、経済的制約から、昨年末に新規建設を一時断念していた。南アフリカは電力供給の90%を石炭に依存しているため、従来から、政府は原子力が二酸化炭素排出量を減少させる適切な手段と考えていた。また、政府は入札による公募より地元原子力産業の発展を希望している。最初のユニットは2012年7月に建設が開始され、4,000MWの発電所がすべて運開するのは2018年7月の見込み。他にも、2つのサイトで4,000MWの発電所が2020年、2022年にそれぞれ運開すると計画している。